

授業科目 聴覚障害 III 演習

【担当教員名】 桑原 桂、吉岡 豊		対象学年	3	対象学科	言語
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 言語聴覚士として必要な聴覚障害関係の機器測定や評価・コミュニケーション手段について習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 補聴器に関する専門用語や特性表を説明できる。 補聴器の調整器についてその特性を同定する。 聴覚機能検査の結果をもとに補聴器装用耳を考える。 聴力の型に合わせて補聴器を調整できる。 耳型採取について理解する。 補聴器装用効果について説明できる。 補聴器障害について理解する。 人工内耳の構造とマッピングについて説明できる。 盲ろう二重障害児・者の特徴と援助方法について理解する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	補聴器に関する用語等を理解し、特性表を読み取る。			1	吉岡（講義と演習）
2	補聴器の調整器と出力変化について理解する。			2	吉岡（講義と演習）
3	補聴器のボリューム、音質調整、出力制限、イヤホン、ダンパーを変えて測定する。			2	吉岡（講義と演習）
4	聴覚機能検査結果から補聴器装用と特性を決定する。			3	吉岡（講義と演習）
5	聴力の型に合わせて補聴器の出力を調整する。			4	吉岡（講義と演習）
6	耳型採取の実際を見る。			5	吉岡（講義と演習）
7	補聴器装用効果の測定について説明できる。			6	吉岡（講義と演習）
8	補聴器障害について理解する			7	吉岡（講義と演習）
8	盲ろう二重障害児・者の特徴			4	吉岡（講義と演習）
10	盲ろう二重障害児・者への援助方法			8	吉岡（講義と演習）
11	人工内耳の構造と機能を理解する。			8	桑原（講義と演習）
12	人工内耳の術前評価をする。			8	桑原（講義と演習）
13	人工内耳のマッピング。			8	桑原（講義と演習）
14	人工内耳の装用効果の評価（成人）する。			9	桑原（講義と演習）
15	人工内耳の装用効果の評価（小児）する。			9	桑原（講義と演習）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		改訂第3版 補聴器フィッティングの考え方 (聴覚障害 III で購入済み)	小寺一興	診断と治療社	2010・3,200円+税
		聴覚検査の実際 改訂3版 (聴覚障害 I 演習で 購入済み)	日本聴覚医学会「	診断と治療社	2009・3,400円+税
参考書		アドバンスシリーズ・コミュニケーション障害 の臨床7 聴覚障害	日本聴能言語士協会 講習会実行委員会	共同医書出版社	4,000円 + 税・ ISBN4-7639-3027-3
その他の資料		必要に応じてプリント配布			
【評価方法】 演習なので4/5以上の出席を単位取得の前提とする。出席およびレポートなどで総合的に評価する。			【履修上の留意点】		